



遊んでいるとき

いろいろなものを口で確かめる赤ちゃん。小さなものや危険なものを飲み込まないようにしたいですね。

変えられないものとして

- ものを口に入れないように赤ちゃんの行動を制限すること
- 危険なものを口に入れないように注意し続けること

予防のポイント

- 口に入れると特に危険なものや 39 ミリ以下の小さなものは高さ 1メートル以上のところに置く
- 高さ 1メートル以上のところに置けない場合は、チャイルドロックを付けた場所で保管する
- 玩具は対象年齢にあったものを使用する

食べているとき

のどに詰まりやすい食材を知り、小さく切る、与えないなどの対策が必要です。食べ物のがのどに詰まらないよう注意し続けることは難しいですね。

予防のポイント

- キャンディーチーズは食べさせない
- ミニトマトやシャインマスカットなどの大粒のぶどうは1/4に切って与える
- かたい豆、あめ玉、もちは食べさせない
- パンは、水分でのどを湿らせてから少量ずつ食べさせる
- こんにゃく入りゼリーは食べさせない



どんなに対策していても、赤ちゃんがバランスを崩して転んだり、頭をぶついたりすることは防げません。小さなケガを繰り返すことが、成長の糧になることもあります。しかし、取り返しがつかないような致命的な事故は絶対に防がなければなりません。私たち大人の役割は、赤ちゃんが安心して様々なことにチャレンジして失敗から学べる環境、赤ちゃんがのびのびと遊べる環境を整えていきたいですね。